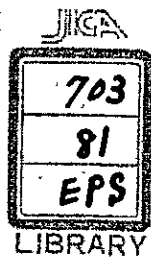


業務資料No. 538

昭和53年度
雇用農実態調査報告書

1979. 12

国際協力事業団



移計調
J R
79-8

國際協力事業団	
受入 月日 '84. 4. 10	703
	81
登録No. 03127	EPS

ま え が き

この報告書は、昭和53年度にベレーン支部並びにブエノス・アイレス支部が実施した雇用農実態調査を本部でとりまとめたものである。

雇用農移住者の独立にあたっての指導・援護業務に資するとともに、国内における啓発・相談の資料として活用されたい。

昭和54年12月

JICA LIBRARY



1025342151

移住計画調査部長

目 次

I. ベレーン支部	3
1. 調査方法・対象・及び期間	3
2. 調査の概要	3
3. 調査結果	3
(1) 調査地区及び人数	3
イ. ベレーン近郊	3
ロ. トメ・アスー地区	4
(2) 年 令	4
(3) 着伯後経過年数	5
(4) 雇用農・独立農の別	5
イ. 独立農の土地所有状況	6
ロ. 独立農 機械車輛所有状況	6
ハ. 独立農 主な作目とその規模	7
参 考 資 料	8
北伯雇用農青年懇談会におけるアンケート	8
II. アルゼンチン支部	15
1. 調査方法・対象・及び期間	15
2. 調査結果	15
(1) 年 令	15
(2) 家 族 数	15
(3) 経過年数	15
(4) 出 身 県	16
(5) 現在の営農または雇用場所	17
(6) 営農または雇用形態	18
(7) 独 立 年	19

(8) 独立の形態	19
(9) 土地所有面積	19
(10) 携行資金	20
(11) 渡航前の職業	20
(12) 渡航前の学歴	20
(13) 住宅環境	21

ベレーン支部

I. ベレーン支部

1. 調査方法、対象及び期間

ベレーン近郊並びにトメ・アスー地域の独身青年移住者を巡回訪問し、聴取りによる調査をベレーン近郊は、昭和54年2月20日から25日に、トメ・アスー地区は昭和54年3月14日から16日に実施した。

2. 調査の概要

ベレーン近郊45名、トメ・アスー地区17名、計62名の独身青年がおり、平均年齢はベレーン近郊29.1才、トメ・アスー29.9才と年々高くなっている。

土地所有面積(独立して農業に従事しているもののみ)平均は、ベレーン近郊55.7ha、トメ・アスー84.8haとなっており、トメ・アスーが、ベレーン近郊よりも土地取得が比較的容易であることを示している。

一方、経営の多角化、機械の導入については、ベレーン近郊の青年の方がより積極的であり、経営規模においても、一般的にトメ・アスーよりも上位にある。

住宅の状況を見ると、ベレーン近郊の独立青年の家屋よりも、トメ・アスー地区の青年の住宅の方が立派であり整っている感じを受けた。これは、トメ・アスーでは建築材料である木材が身近かに在り、安価に入手できるのに比し、ベレーン近郊では資材が高く入手困難であることも一つの原因とみられる。中には、レンガによる本建築を開始している者も2名ほどいた。

3 調査結果

(1) 調査地区及び人数

イ. ベレーン近郊

地 区	人数	地 区	人数	地 区	人数
サンタ・イサベル 郡	5	マラカナン 郡	1	アカラ入植地	3
グアマ入植地	1	イガラッペ・アスー 郡	5	カスタニヤル 郡	7
サント・アントニオ・デクア 郡	6	チンボテウア 郡	1	クルサー 郡	3
ヴィジャ 郡	4	サンタ・マリア 郡	1	ブリマ・ペーラ 郡	1
サン・フランシスコ・ド・ラ 郡	1	サンサレーン・ノーボ 郡	1	ベレーン 市内	3
ブラカンサ 郡	1	ボニート 郡	1		
バラ・ゴミナス 郡	2	サント・ドミンゴ・ド・カピン 郡	5	合 計	52

ロ. トメ・アスー地区

地 区	人数	地 区	人数	地 区	人数
トメ・アスー	2	トメ・アスー・プレウ	2	トメ・アスー・十字路	2
第2トメ・アスー	11	アイウ・アスー(第3トメ・アスー)	1	合 計	18

(2) 年 令

年 令	ベレーン近郊	トメ・アスー
	人 数	人 数
22才以上24才未満	3	0
24 " 26 "	1	1
26 " 28 "	13	2
28 " 30 "	16	3
30 " 32 "	10	8
32 " 34 "	4	1
34 " 36 "	5	3

平均年令

ベレーン近郊 29.1才

トメ・アスー 29.9才

(3) 着伯後経過年数

経過年数	移住地	
	ベレーン近郊	トメ・アスー
	人数	人数
1年6ヶ月未満	7	3
1年6ヶ月以上 3年未満	4	1
3年以上 4年6ヶ月未満	6	6
4年6ヶ月以上 6年未満	5	2
6年以上 7年6ヶ月未満	17	4
7年6ヶ月以上 9年未満	6	0
9年 10年6ヶ月未満	4	2
10年6ヶ月以上	3	0

経過年数平均

ベレーン近郊 7年

トメ・アスー 5年6ヶ月

(4) 雇用農・独立農の別

	ベレーン近郊	トメ・アスー
雇 用 農	15	3
独 立 農	34	14
そ の 他	3	1

イ. 独立農の土地・所有状況

移住地 所有面積	ベレーン近郊	トメ・アスー
	人数	人数
25 ha 未満	20	6
25 ha 以上 50 ha 未満	16	3
50 " 75 "	7	5
75 " 100 "	4	1
100 " 125 "	2	1
125 " 150 "	1	0
150 " 175 "	1	1
175 以上	1	1

独立農所有面積平均

ベレーン近郊	55.7 ha
トメ・アスー	84.8 ha

ロ. 独立農・機械・車輛所有状況

(台)

機械・車輛	ベレーン近郊	トメ・アスー
	全体(1人当り)	全体(1人当り)
乗 用 車	17(0.50)	1(0.07)
ト ラ ッ ク	2(0.06)	0(0)
ト ラ ク タ ー	15(0.44)	1(0.07)
オ ー ト バ イ	2(0.06)	3(0.21)
エ ン ジ ン	13(0.38)	0(0)
消 毒 機	1(0.03)	0(0)
チェーン・ソー	0(0)	1(0.07)

ハ. 独立農・主な作目とその規模

	ペレーン近郊	トメ・アスー
	1人当り	1人当り
ピメンタ	7,700 本	3,160
マクラジャ	1,370 本	1,970
マモン	850 本	0
デソデ	30 ha	0
カカオ	330 本	1,560 本

〔参考資料〕

北伯雇用農青年懇談会におけるアンケート

昭和54年3月17日、トメアスー並び第2トメアスー移住地在住の雇用農青年たちを中心として懇談会を開催した時に実施したアンケートをベレーン支部がまとめたものである。アンケート回答者は25名であった。

アンケート対象者の居住地別分類

第2トメアス入植地	16名
トメアスブレウ地区	4名
" アーグッブランカ	1名
" 十字路	1名
コンコルディア	2名
アイウアスー(第3トメアスー)入植地	1名
合 計	25名

1. 北伯に移住して良かったと思いますか。

ア. 思う	14名
イ. 思わない	4名
ウ. 不明	6名

注 不明の理由としては、"外部を知らないため"というのが大部分である。

2. ブラジルに定住しますか。

ア. 定住する	21名
イ. 他国へ転住	なし
ウ. 帰国	なし
エ. 不明	2名

3. 将来をどう思いますか。

ア. 大いに有望	6名
----------	----

イ. 有望 10名

ウ. 不明 7名

注 大いに有望と答えたものの理由は、"個人の能力次第でいくらでも仕事ができる"からとなっており、有望であると答えたものは、その事由が明確でなく"なんとなく"有望であると考えている。

4. 現在のブラジル語の程度は

ア. 仕事に不自由ない 9名

イ. 日常に不自由ない 11名

ウ. 日常も困る 1名

5 当地の生活に慣れるまでどの程度かかりましたか。

ア. 半年 2名

イ. 1年 7名

その他回答なし

6 雇用契約について

ア. 約束どおり 17名

イ. 約束とちがう 6名

ウ. 約束より良い 2名

7. 仕事について

ア. 想像したとおり 17名

イ. 想像よりきつい 2名

ウ. 想像より楽 4名

8. バトロンについて

ア. 青年の考えを理解している 6名

イ. 全く考えが合わない 4名

ウ. 理解しているようであるが時代の違いでなかなかかみ合わない 9名

9. 困ったときの相談相手は。

ア. いる	23名	その内訳	パトロン	7名
			友人	14名
			事業団	2名
イ. いない	なし			

10. 独立資金の調達先は

ア. パトロン	なし
イ. 日本の親元から	3名
ウ. 事業団及び銀行	12名

11. 今一番困っていること

ア. 資金がないこと	17名
イ. 娯楽がないこと	3名
ウ. 嫁さんがいないこと	2名
エ. 借金がありすぎる	1名

12. 主な娯楽

読書, 映画

13. 日本の留守家族との文通

ア. 年間1~2通やりとりしている	19名
イ. 文通をしていない	4名

14. これから移住を希望する日本の青年へのアドバイス

ア. 資金は独立時に送金してもらうこと
イ. 資金はできるだけ多く準備しておくこと
ウ. 言葉は日本で覚えておくこと
エ. 結婚は現地へ来てから考えること

15. 事業団に最も希望したいこと.

- ア. 事業規模に見合った融資の実施と現在より長期の貸付をして欲しい
- イ. 強力な営農指導をして欲しい
- ウ. 事業団の融資, その他の援護(施設を含む)は, 移住者の自立をさまたげたり, 経営を苦しくさせている。(1件のみ)

ブエノス・アイレス支部

II ブエノス・アイレス支部

1. 調査方法、対象及び期間

ブエノス・アイレス州、エントレ・リオ州、サルタ州、ネウケン州、コリエンテス州及びリオ・ネグロ州に在住する、戦後の雇用農を対象として無作為に50戸を抽出し、面接による聴取り調査を昭和54年2月から3月に実施した。

2. 調査結果

(1) 年 令

年 令	人数	年 令	人数
25才以上28才未満	3	37才以上40才未満	6
28 " 31 "	9	40 " 43 "	4
31 " 34 "	12	43 " 46 "	4
34 " 37 "	7	46才以上	5

平均年令 35.7才

(2) 家族数

単 身	12人	5名家族	9家族
3名家族	11家族	6名家族	5家族
4名家族	13家族	合計	50家族

(3) 経過年数

経過年数	人数	経過年数	人数
4年未満	1	16年以上20年未満	7
4年以上 8年未満	12	20 " 24 "	2
8 " 12 "	10	24 " 28 "	4
12 " 16 "	12	28年以上	1

(1名は不明, 合計49人)

平均経過年数 12.7年

(4) 出身県

出身県	数	出身県	数
北海道	2名	滋賀県	1名
青森県	2名	島根県	1名
秋田県	1名	富山県	1名
福島県	3名	広島県	1名
宮城県	1名	大阪府	1名
山形県	1名	岡山県	2名
茨城県	2名	三重県	1名
群馬県	2名	福井県	1名
東京都	2名	高知県	1名
長野県	4名	岐阜県	1名
新潟県	2名	熊本県	1名
静岡県	3名	愛媛県	1名
埼玉県	1名	福岡県	1名
神奈川県	2名	大分県	4名
京都府	1名	沖縄県	3名
		計	50名

(5) 現在の営農または雇用場所

場 所	数	場 所	数
ブエノス,アイレス州ローマベルデ小移住地	3名	ブエノス,アイレス州 ブルサツコ	1名
” セラージャ ”	1	” ビジャマラベル	1
” アルマフェルテ ”	2	” パプロノグス	1
” マルコスバヌ ”	1	リオネグロ州 ビジャレヒナ	2
” ラブラタ ”	3	” ヘネラルロッカ	4
” チビルコイ	4	” ヘネラルエンリケゴドイ	1
” km 95ソリス	1	” ビジャアルベルディ	1
” カルメンデアレコ	1	ミシオネス州 ボサーダス	2
” ベジャフロー ル	1	” アリストブーロデルワージェ	2
” エセイサ	1	” ドステマーショ	1
” ネコチャ	2	” ハルディンアメリカ	3
” ホセセパス	1	エンテレリオ州 コンコルディア	1
” モレノ	1	コリエンデス州 km 30	1
” チャカブコ	2	ネウケン州	1
” エスコパール	1	サルタ州 エンバルカション	1
” ウルキッサ	1	計	50名
” ラブラタ市	1		

(6) 営農又は雇用形態

形 態	数
花卉栽培（温室による、カーネーション、バラ、菊等々）	12名
鉢物栽培と花卉販売店	1 "
鉢物と切花	2 "
鉢物と観葉植物	3 "
鉢物専門	1 "
花卉、そ菜、洗染店（多角経営）	1 "
養蜂のみ	4 "
養蜂と養鶏	1 "
養蜂、そ菜、いちご	1 "
そ菜のみ	3 "
いちごのみ	1 "
果樹栽培（リンゴ、洋梨、桃、ぶどう等）	5 "
果樹とそ菜	2 "
紅茶と油桐	1 "
紅茶と養鶏	1 "
紅茶と給料（豊協の職員として）	1 "
紅茶、マテ茶、煙草	2 "
紅茶、マテ茶、そ菜	2 "
雇用農	2 "
現在技術雇用 独立準備中	1 "
" 日語教師 独立準備中	1 "

被雇用者

50名

(7) 独立年

独立農・46人 雇用農4人

独立年	人数	独立年	人数
1956年以前	1	1966年から1968年まで	8
1957年から1959年まで	4	1969年 " 1971年 "	5
1960年 " 1962年 "	0	1972年 " 1974年 "	10
1963年 " 1965年 "	0	1974年以後	18

(8) 独立の形態

独立の形態	数
分益農より土地購入独立	3名
借地農より "	9名
共営より "	2名
雇用農より "	30名
分益独立(土地購入準備中)	1名
養蜂転地の為土地なし(但し土地購入準備中)	1名
被雇用	4名
計	50名

(9) 土地所有面積

所有面積	人数	所有面積	人数
1.5 ha 未満 *1	19	6.0 ha 以上 7.5 ha 未満	3
1.5 ha 以上 3.0 ha 未満	9	7.5 " 9.0 "	0
3.0 " 4.5 "	6	9.0 " 10.5 "	0
4.5 " 6.0 "	2	10.5 ha 以上	11

*1 所有面積 0 6人

平均所有面積 11.6 ha

⑩ 携行資金

携行資金	人数	携行資金	人数
400ドル未満 ^{*1}	25	1,600ドル以上2,000ドル未満	0
400ドル以上 800ドル未満	5	2,000 " 2,400 "	3
800 " 1,200 "	7	2,400 " 2,800 "	0
1,200 " 1,600 "	2	2,800ドル以上	8

*1 携行資金0 10人

⑪ 渡航前の職業

渡航前の職業	数
農 業	17名
学 生	5
無職（渡航待の為）	6
農協職員	1
印 刷	1
養 蜂	3
会 社 員	3
農業試験場	1
中学教員	1
製 材	1
運 輸	1
私 鉄	1
国 鉄	1
法律事務所	1
サービス業	1
店 員	1
自 衛 隊	1
米 軍	1
団体役員	1
製 造 業	1
計	49名 ^{*1}

⑫ 渡航前の学歴

渡航前の学歴	数
農業高校	3名
普通高校	32
中学校	2
小学校	1
大学中退	2
大 学	6
旧制高小	2
旧制中学校	1
旧制高校	1
計	50名

*1 1名については不明

03 住宅環境

住宅	練瓦造り, コンクリート打, 平家建	34名
	木造平家建	11
	借家(練瓦造り平家建)	4
	バトロン宅 木造平家建	1
計		50名
ガス	プロパンガス	48名
	天然ガス(公共)	2
	計	50名
電気	公共用電気	48名
	自家発電	2
	計	50名
水	井戸(揚水ポンプ用)	46名
	公共用水道	4
	計	50

注 家屋の木造平家建は堅木の建造物, 主としてミシオネス州

